



平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ミロク情報サービス
代表者名 代表取締役社長 是枝周樹
(コード番号 9928 東証第2部)
問合せ先 経営管理本部長 滝本訓夫
(TEL. 03 - 5361 - 6369)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 11 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	9,100	28	50	24
今回修正予想(B)	9,224	109	125	27
増減額(B-A)	124	80	75	2
増減率(%)	1.4	278.1	150.3	11.1
(ご参考)前中間期実績 (平成 18 年 9 月期)	9,208	291	281	168

(個別)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	7,829	26	36	24
今回修正予想(B)	7,991	154	154	73
増減額(B-A)	162	127	118	49
増減率(%)	2.1	480.3	327.3	205.0
(ご参考)前中間期実績 (平成 18 年 9 月期)	8,036	219	224	94

2. 業績予想修正の理由

<個別業績予想の修正について>

会計事務所向けの主力製品『ACELINK Navi』やセキュリティ商品の販売が堅調に推移し、また、平成 19 年度の税制改正における減価償却制度の改正により、減価償却システムのバージョンアップ需要が増加したため、TVS(会計事務所向けトータル・バリューサービス)及び企業向けのソフト運用支援サービスの契約数が増加し、安定収益となるサービス収入が増加しました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費におけるコスト削減効果により、営業利益、経常利益及び中間純利益ともに当初予想を上回る見込みです。

なお、導入支援、設置作業等の役務提供を伴うパッケージ・ソフトウェア製品、ハードウェア商品

の売上計上については、従来、出荷基準によっておりましたが、当連結会計年度より、製商品の販売に付随する役務提供の完了時に売上を計上する方法に変更しております。従いまして、当中間期業績と前中間期実績の比較におきましては、当該会計基準の変更に伴い、当中間期における売上高及び利益の一部に下期以降へのずれが生じておりますことを予めご承知おき下さい。

<連結業績予想の修正について>

連結業績予想の修正は、主として個別業績予想の修正によるものであります。

なお、連結及び個別の通期業績予想につきましては、現時点においては前回発表した数値に変更はありません。今後、業績修正の必要が生じた場合には速やかに発表いたします。

3. 特別損益について

連結業績予想

関係会社株式売却益 224,784 千円等により、特別利益 289,540 千円を計上する見込みです。
投資有価証券評価損 161,007 千円等により、特別損失 216,155 千円を計上する見込みです。

個別業績予想

関係会社株式売却益 163,980 千円等により、特別利益 220,784 千円を計上する見込みです。
投資有価証券評価損 159,807 千円等により、特別損失 178,915 千円を計上する見込みです。

(注) 本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上